

## 9月2日(水) 9月補正予算記者会見 質疑応答要旨

(記者)

「テレワーク環境構築事業」について、新しい端末機やネット環境の整備など、どの程度のテレワークが可能な体制を構築しようと考えていますか。

(市長)

在宅勤務制度を導入してからの実績ですが、4月23日から5月22日までの18日間で、消防署・大麻分署・保育所等を除く52部署中27部署の約52%、対象職員527人中167人の32%の職員が在宅勤務を実施しました。

導入にあたっては課題等もありましたので、事業推進監をリーダーとした総務担当課の副課長など9人のメンバーで検証を行った上で、まずはスモールスタートとして25台のノートパソコンを配備したいと考えています。

タイムスケジュールとしては、議決後、10月下旬に入札をし、

11月にネットワークを構築、12月から運用したいと思っています。

テレワークについては、「在宅勤務」、「モバイルワーク」、感染症流行時などの非常時に庁外の未活用施設等において事業の継続が可能となる「サテライトオフィス」の3つのケースにおいて実施させていただきたいと考えています。

(記者)

会計年度任用職員の採用についてですが、市内企業の解雇状況等は把握されていますか。

(市長)

4、5月に聞き取り調査を行ったときは、まだ解雇という話はなかったと聞いております。

ただ長期化したときに、パートやアルバイトの勤務時間が非常に短くなったとか、「出勤を控えてほしい」などの話があり、特に、子育て中のお母さんに多いということですので、そのような方々の雇用創出につながるよう、3名程度に限定させていただき、今

後、募集していきたいと思っています。

(記者)

実際に仕事がなくなった方の把握はされていないということでしょうか。

(市長)

面接時にお伺いし、状況を確認させていただくことになろうかと思います。

(記者)

採用はいつからになりますか。

(市長)

9月に募集し、10月から令和3年までを考えています。

(記者)

来年4月以降の事業費の予算化は検討されていますか。

(市長)

今後の情勢を見ながら、必要であれば予算化も考えていこう  
と思っています。

(記者)

スポーツコミッション設立アクションプランは、どのように検討  
されていますか。

(市長)

まだ、具体的ではないのですが、スポーツ庁や先進事例の調  
査・研究などを行っていこうと考えています。

令和元年 10 月現在で、全国に 118 のスポーツコミッション  
があることやスポーツ庁では、令和 3 年度までに 170 まで拡大  
することを目標に掲げています。

また、8 月に徳島県がスポーツコミッションを立ち上げたところ  
ですので、情報収集を行いながら進めていきたいと思ってお  
ります。

本市には、韓国や中国のインバウンド合宿を受け入れた実績

がありますので、スポーツ団体や観光施設・ホテル関係者等と意見交換をしながら進め、今年度中にアクションプランを策定していきたいと思っています。

(記者)

ヴォルティスロードの整備ですが、カラー舗装(別添資料参照)が今年度されるということですか。

(市長)

(別添資料を指し、)カラー舗装や路面シールの装飾など色々させていただいて、エリア全体をヴォルティスロードにしていこうと考えています。

長い目でヴォルティスの応援をしていきたいという思いもありますので、毎年少しずつでもやっていくことが機運醸成につながっていくだろうということもあり、5年計画にさせていただいています。

(記者)

ヴォルティスロードですが、全体で距離はどのくらいになりますか。

(市長)

ヴォルティスロードという考え方は、駅前からポカリスエットスタジアムまでになるのですが、距離としては 1.9 km、消防庁舎からは 1.3 km になっています。一番遠い高速鳴門のバス停からは 3.3 km になります。

消防庁舎付近には、お土産等を販売しているうずしお会館もありますので、ヴォルティスロードを通っていただくことでそちらにも誘導ができるものと考えます。

2 km なら歩いてもいいと思いますし、歩くことによって鳴門の街を見ながらチームの応援状況等も見ただけですので、できるだけ派手にできたらいいのかなと思っています。

(記者)

5 年間かけて実施するということですか。

(市長)

そうですね。事業を実施していく中で、何が足りないかということがわかってくるかと思imasuので、不足するものを付け加えながら実施していけたらと思っています。

(記者)

タブレット端末ですが、今年度、先生方に対して何台ぐらい配備する予定ですか。

(市長)

先生は 328 台(校長、養護教諭、英語教諭を除く)です。内訳としましては、小学校が 215 台で中学校が 113 台です。

また、児童分については、小中学校あわせて 3,774 台ですが、これについては、すでに予算化されており、これから入札に入っていく予定です。

(記者)

いつ頃、配備できる予定ですか。

(市長)

今年度中を予定しております。導入後はセットアップや先生方への指導等もありますので、少し時間がかかるかと思いますが、今後、新型コロナウイルス感染症の第3波、第4波が来たとしても対応できるよう、できるだけ早く導入したいと思っています。

(記者)

例えば、モデル校を設置し、先行実施するなどの考えもありますか。

(市長)

鳴門教育大学と連携した「学園都市化構想」のもと、教育委員会と鳴門教育大学の先生方が話し合いをしながら進めていくこととなっています。

将来的にはモデル校を設置し、鳴門教育大学の先生方に来ていただき、モデル校から始めるという形になるかもしれません。

本市に鳴門教育大学がある強みを生かした進め方をさせていただきたいと思っています。

(記者)

福祉避難所は、市内に何か所ありますか。

(市長)

17 か所です。

(記者)

段ボールベッドやパーテーション(間仕切り)は足りていますか。

(市長)

随時、備蓄をしています。

現在、コロナ禍で感染症対策も含めて考えなければいけないと思っています。例えば、広いところであれば間仕切りは設置できますが、狭いところでは設置できませんので、違う形での対策をしていかなければならないと思っています。